

# 連結中期経営計画とCSRの推進

収益基盤の強化と社会的責任の推進に向けて、「連結中期経営計画」「連結中期CSR計画」に取り組んでいます。

## 連結中期経営計画

コスモ石油グループは、2005年度から2007年度までの3か年の「第2次連結中期経営計画」を策定し、「将来の構造変化に耐える経営基盤の強化」および「成長戦略への転換」を基本方針に、グループ一丸となって取り組んできました。

石油開発についてはカタル石油開発における商業生産の開始、石油化学についてはCMアロマにおけるミックスキシレンの生産開始などの成果をあげることができました。さらに、2007年度には、アラブ首長国連邦のアブダビ首長国政府が100%出資する投資会社「IPIC」(International Petroleum Investment Company)との間で、包括的かつ戦略的な業務提携を行いました。しかしながら想定以上の原油価格の上昇と内需の減少などの経営環境の変化に加え、当社固有の事象として千葉製油所での事故の影響もあり、利益面では目標達成にいたりませんでした。

2008年度から始まる第3次連結中期経営計画(2008～2010年度)では、この3年間を「収益基盤の再構築と次の成長への布石」の期間として戦略テーマに据え、経営を下支えするベースとして「CSR経営の推進」に取り組み、社会的責任の果たせる経営を推進していきます。

### 【第3次連結中期経営計画骨子】

#### ① 収益基盤の再構築および次の成長への布石

石油精製販売事業の収益力の再強化

- ・ 強靱な国内販売網の構築
- ・ 海外販売の拡大
- ・ 製油所競争力の強化

成長戦略の加速のための早期の意思決定

- ・ 石油開発事業
- ・ 石油化学事業

IPIC との提携シナジー追求

- ・ 多岐にわたる分野での案件検討

新規事業

- ・ ALA 事業
- ・ 集光太陽熱発電

#### ② CSR 経営・環境経営の推進

第2次連結中期CSR計画を策定

## 連結中期CSR計画(2005～2007年度)

コスモ石油グループの経営理念に基づき、エネルギーと社会と地球環境との「調和と共生」を図るとともに、お客様や社会のニーズをとらえた事業展開により「未来価値の創造」をめざし、社会の持続的発展に寄与していきたいと考えます。その考え方をグループ全体で共有し、着実に実践していくため、2005年度からの連結中期経営計画に「CSR体制の強化」を掲げ、同じく3か年の連結中期CSR計画を策定して、CSR経営の推進に継続的に取り組んできました。

### 基本的な枠組みと取り組み状況

ステークホルダーとのかかわり方は、グループを構成する各会社・各部門によりさまざまです。したがって、連結中期CSR計画では、各事業単位での取り組みを基本としながら、グループ共通の5つの重点項目を設定し、これを基本としつつ、特に「CSR意識の浸透」を中心に推進してきました。

#### 【重点5項目：主な実績と課題】

##### 1. CSR 意識の浸透

- 〈実績〉・ 経営理念／企業行動指針の周知を図るため企業倫理研修やモニタリングチェックを実施。  
・ 製油所コンプライアンス委員会の設置。
- 〈課題〉・ CSR 意識は浸透しつつあり、さらに社員個々の自発的な CSR 活動の実践が求められる。

##### 2. リスクマネジメントおよび内部監査体制の強化

- 〈実績〉・ 関係会社ごとに内部監査体制を整備。  
・ リスクマネジメント委員会を設置し、リスク項目を抽出。  
・ 事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) を策定。

##### 3. 万全な安全管理の実施

- 〈実績〉・ 4つの重点テーマを実行。  
(1) 安全管理体制の整備 (2) 潜在リスクの抽出  
(3) 危機管理体制の強化 (4) 教育訓練の計画的実施  
・ 製油所の安全管理体制再構築のための「チェンジ21活動」を開始。
- 〈課題〉・ 全般的に定性的な目標設定のため、実績評価が困難であった。

##### 4. 環境取り組みの高度化

- 〈実績〉・ 地球温暖化対策や土壌汚染対応を着実に実施。  
・ オフィス版、個人版のチームマイナス6%活動を展開。  
・ CO<sub>2</sub> 排出権購入契約の締結。  
・ コスモ石油エコカード基金にて、グローバルな環境貢献活動と参加／体験型プロジェクトを展開。
- 〈課題〉・ ステークホルダー参加型の環境貢献活動の強化。

##### 5. 人権／人事施策の充実

- 〈実績〉・ 育児休職取得期間の拡大や育児支援施設利用に対する会社補助の充実などのワークライフバランスを促進。
- 〈課題〉・ 施策・制度は充実したが、社員の理解度・利用度は不十分。

関連情報 ● 第3次連結中期経営計画

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/mediumterm/index.html>

## 第2次連結中期CSR計画(2008～2010年度)

2008年度より開始した「第2次連結中期CSR計画(2008～2010年度)」では、「グループ連結でのCSR推進体制の強化」を図るとともに、「安全管理体制の構築」「人権／人事施策の充実」「環境対応策の推進」および「ステークホルダーとの関係強化」

を重点項目に、コスモ石油グループ社員の自発的な参加を促しつつ、持続可能な社会および地球環境の実現に向けた取り組みを推進していきます。

重点項目	主な目標	
グループ連結でのCSR推進体制の強化	<p>◆実践度向上のための組織体制                      (「CSR推進委員会」で全体総括し、さらに「CSR推進連絡会」において関係会社と連携を図り、グループ全体の実践度を向上)</p> <p>◆企業行動指針・制度の再整備と浸透(リスク管理／内部統制への対応)</p>	
安全管理体制の構築 (第2次連結中期安全計画)	◆部門別目標	
	A) 製造部門(石油・石油化学)	〈チェンジ21活動目標〉不安全不具合をベース年比90%以上削減
	B) 製造／基地部門(潤滑油・ガス)	危険物、可燃性ガス等の漏洩の削減
	C) 物流部門	(陸上輸送)混油、漏油、誤配送、交通事故削減
		(海上輸送)船舶管理体制の把握 (油槽所)労働災害ゼロの継続、事故削減
D) 販売・その他部門	SS工事における労働災害ゼロの継続、SS設備リスク対策 危険物、可燃性ガス等の漏洩の削減	
人権／人事施策の充実 (第2次連結中期人権／人事計画)	◆グループ共通テーマ	
	① 参画意識の向上	人事規程・制度の社員認知度100%
	② 多様性尊重、機会均等	障がい者雇用率2%以上を維持・人権研修の受講率80%以上
	③ 人材の育成、能力開発	階層別研修の継続実施・社内公募の継続実施
	④ 心身のヘルスケア増進	総労働時間1,900時間／年以下・特定健康診断の実施
	⑤ 職場と家庭の両立支援	育児休職・休暇の支援・有休取得日数10%増
	⑥ 雇用の安定・再就職支援	再就職・再雇用の支援継続
◆個別テーマ:次世代育成支援対策推進法への対応(101人以上の事業所)		
環境対応策の推進 (第3次連結中期環境計画)	◆環境効率の改善	
	① 地球温暖化対策	4製油所のエネルギー消費原単位の改善(2010年度に1990年度対比▲15%) 温室効果ガスの排出管理(海外開発部門～流通部門における定量把握) 省エネルギー・省資源の推進(物流効率化の省エネルギー:原単位 前年比▲1%) (省資源: オフィス版チーム・マイナス6%活動)
		京都メカニズムの活用(温暖化対策の補完的手段としての排出権取得)
		② 環境負荷の最小化
	◆環境経営の強化	
	③ 環境配慮型の事業展開と技術開発	新規環境事業の展開・石油分野、新規分野の研究開発
	④ 環境情報の共有化と情報発信	個人版チーム・マイナス6%活動(個人や家族を巻き込んだ取り組み)
ステークホルダーとの関係強化	◆社会・環境貢献活動のコミュニケーション強化	
	・地域社会における社会・環境貢献活動の強化 ・コスモ石油エコカード基金の参加型プロジェクトの強化	
	◆ステークホルダー・コミュニケーションの充実	
	・双方向コミュニケーションの充実	